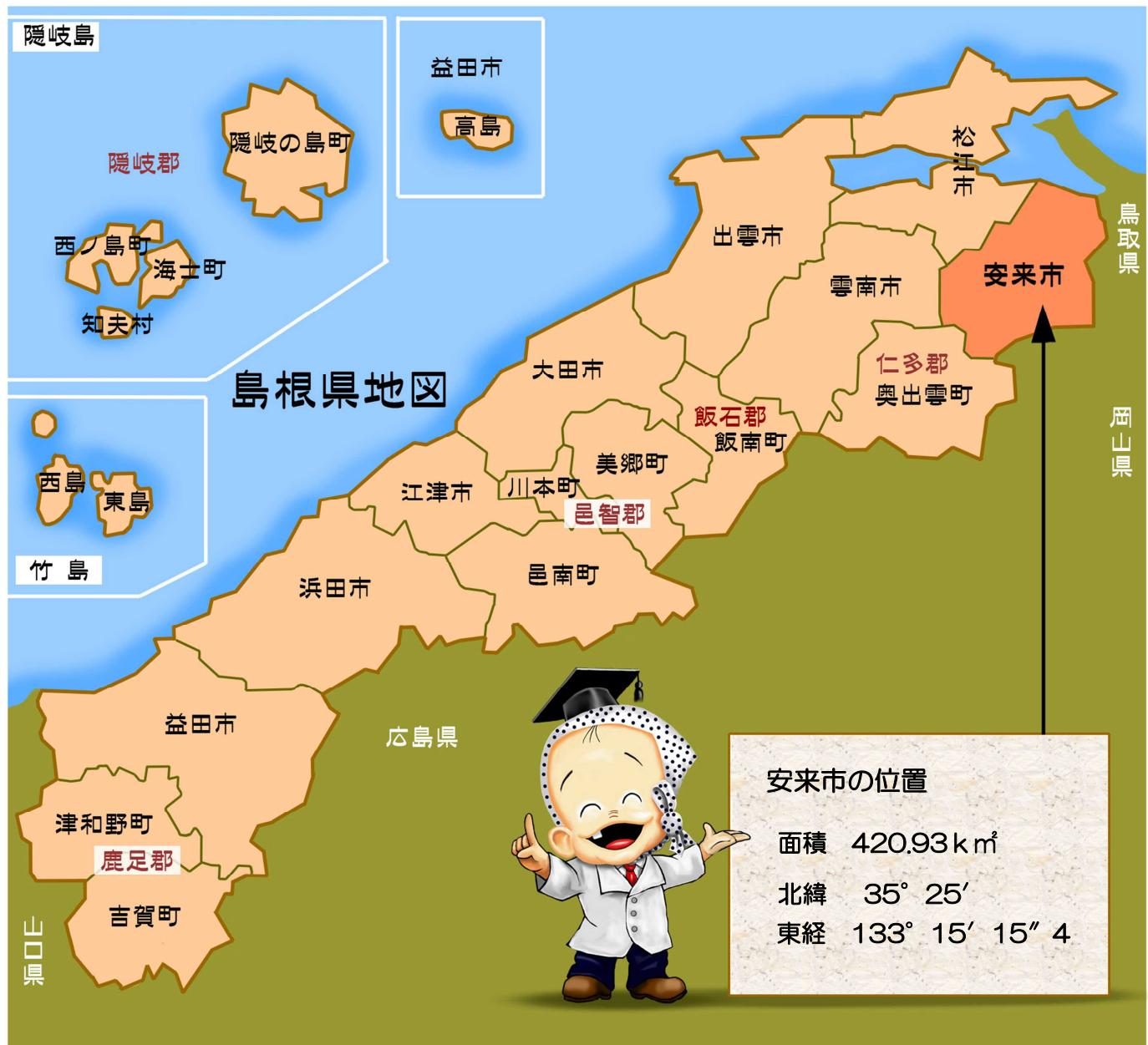


令和2年度版

統計やすぎ



発行 令和3年3月

編集 総務部総務課

◆はじめに◆

この冊子は、各分野にわたる統計資料のうち、重要で基礎的なものを要約し、編集したものです。
気軽に見ていただき、さらに市勢への関心を高めていただければ幸いです。

令和3年3月 安来市総務部総務課

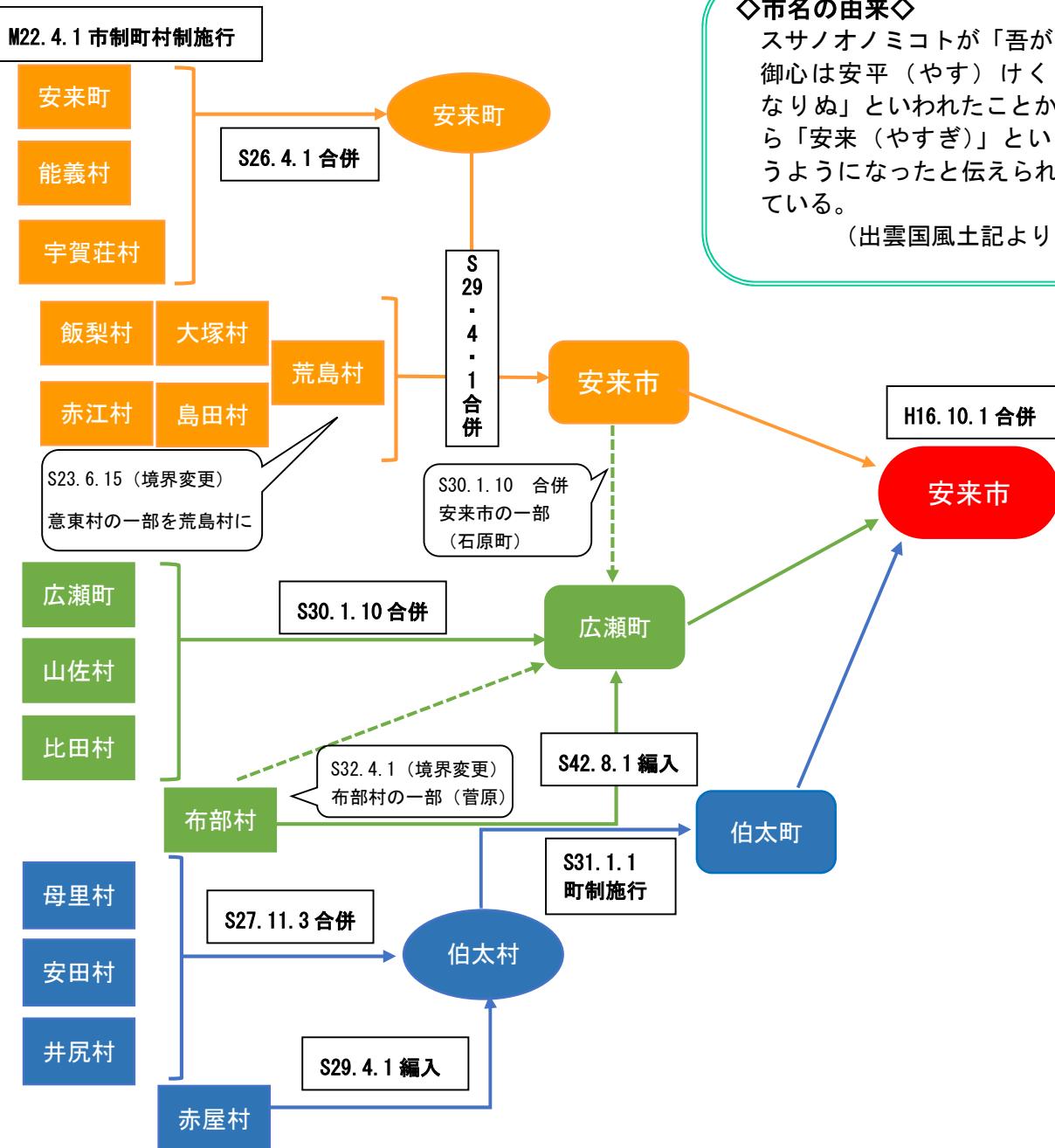
◆もくじ◆

安来市の生い立ち	1
市章・市のキャラクター・市の花、木、鳥、魚	2
市の歌	3
自然・土地	4
人口・人口移動	6
福祉・介護	8
教育・文化	10
観光・交通	13
産業	15
住民生活	16
財政	17
選挙	18
警察	19
消防	20
防災	21
絵で見る安来市(令和3年2月末現在)	22

◆凡例◆

- 表に用いた符号の用法は、次のとおりです。
- 「—」…皆無または定義上該当数字がないもの。
- 「X」…数字が秘匿されているもの。
- 「▲」…統計数値の前に付し、負数であることを示す。

安来市の生い立ち



◆沿革◆

当地域は、古くは出雲国の東部「意宇郡」に属していたが、平安時代に仁多郡に属していた比田地域を合わせ「能義郡」として一つの行政区となった。

戦国時代には、月山富田城を本拠とする尼子氏が、陰陽11州（現中国地方）に勢力を及ぼすまでに台頭した。

江戸時代には、松江藩の支藩として広瀬藩、母里藩が置かれ、飯梨川や伯太川を利用して物資を運搬し、安来港が物資集積の積出港と堺、和鉄や蔵米の集散地として発展した。

廃藩置県により、明治4年7月に松江県、広瀬県、母里県となり、同年11月に統廃合され「島根県」となった。

明治22年の市制町村制施行により、当地域は能義郡として2町14村となった。

その後、戦後の市町村合併により「安来市」「広瀬町」「伯太町」の1市2町となり、圏域市町として生活、文化など連携した施策を行いながら、平成16年10月1日、新生「安来市」として合併した。

市章

・市のキャラクター



あらエッサくん

「安来」といえば、民謡「安来節」。これにあわせて、ほっかむりと鼻当てをしたひょっこり顔でユーモラスな動きで踊る「どじょうすくい踊り」も全国的に有名。



市の花、木、鳥、魚

安来市にゆかりのあるものが、住民アンケートの結果によって選定された。

(平成19年11月3日制定)

花	さくら 桜		<p>安来市には、「社日公園」「十神山」「太鼓の壇」「上の台」など、桜の名所が多数ある。市内のいたるところで目にすることができる、桜の花の優しい色合いは、市民を和ませてくれる。</p> <p>安来節の歌詞にもある「社日桜」は、現在、社日公園の桜を総称しているが、実際は、明治時代まで栄華を誇ったと言われる桜の老木の名称であったと言われている。</p>
木	たけ 竹		<p>「島田たけのこ」「竹炭」など、竹に関連した特産物が多数あり市民の生活に身近なものである。</p> <p>「島田たけのこ」の歴史を紐解くと、文化年間（1820年頃）に島田地区で孟宗竹を移植したのが始まりと言われている。</p> <p>また、比婆山に群落する「陰陽竹」は県の天然記念物に指定されている。</p>
	もみじ 紅葉		<p>紅葉の時期には、もみじは市内の各所で紅く染まり、市民の目を楽しませてくれる。なかでも「清水寺」では、もみじをはじめとした木々が三重の塔を包み込むように彩り、秋の趣を感じさせてくれる。</p> <p>※平成27年4月1日付追加選定</p>
鳥	はくちょう 白鳥		<p>昭和50年代に入ってから、本格的に能義平野へ飛来するようになった。冬の風物詩となり、能義平野を縦貫する広域農道にも「白鳥」の名称が使われているなど、市民に親しみのある鳥である。冬の訪れを告げる11月ごろに飛来し、翌年の3月ごろまで、その姿を市民に楽しませてくれる。</p>
魚	どじょう 泥鰌		<p>「安来節」のどじょうすくい踊りに代表されるように、どじょうは昔から市民に親しみのある魚である。</p> <p>愛嬌のある風貌だけでなく、食せば栄養価も非常に高く、昔から「うなぎ一匹、どじょう一匹」（カルシウムはうなぎの約9倍、ビタミンB2はうなぎの約2倍）と言われるほどである。</p>

市の歌

平成26年10月4日に新安来市発足10周年記念事業の一環として制定された。

歌詞には、安来、広瀬、伯太の情景が盛り込まれ、未来に向かってともに歩いてゆこうというメッセージが込められている。

いと

愛し ふるさと 安来

作詞・作曲：HANZO & 田部由美子

1 桜色の社日山 中海に浮かぶ十神山
ハガネの町も誇らしく 心豊かに栄え立つ

唄声も高らかに
光抱いて 羽ばたかん

ここに生まれて ここに生きる
手をつないで 空を見上げて 歩いてゆこう
愛し ふるさと やすぎ

2 歴史の薫る月山に 平和の陽光^{ひかり}を浴びながら
希望のせせらぎ富田川 四季の実りに満ちあふる

気高き匠の技があり
美しき心 受け継がん

ここに生まれて ここに生きる
手をつないで 空を見上げて 歩いてゆこう
愛し ふるさと やすぎ

3 神話の里にたたずむ 比婆山に見守られ
清らに流るる伯太川 息吹の鼓動に恵み在り

いにしえの教え 語り継ぎ
母なる大地に 輝かん

ここに生まれて ここに生きる
手をつないで 空を見上げて 歩いてゆこう
愛し ふるさと やすぎ

自然・土地

■一級河川

名称	上流端	下流端	河川延長
伯太川	伯太町草野	中海	25.0
飯梨川	広瀬町比田	中海	35.9
山佐川	広瀬町奥田原	飯梨川	15.5
吉田川	上吉田町	中海	12.5

資料:島根県統計書

単位:km

■湖

名称	湖岸線延長	満水面積	水深	
			最深	平均
中海	104.6	86.79	8.4	5.4

資料:島根県統計書 ※所在地は、松江市・宍道市・米子市・境港市

単位:km, km², m

■ダム

名称	目的	堤高	有効貯水容量
布部ダム	洪水調節・上水道・工業用水・発電	55.9	5,000
山佐ダム	洪水調節・上水道	56.0	4,450

資料:島根県統計書

単位:m, 千m³

■主要山岳

名称	標高	名称	標高
猿隱山	816.9	メイゲ平山	229.1
三郡山	806.0	三笠山	218.1
鷹入山	706.1	車山	207.8
天狗山	610.4	月山	183.8
日向山	526.3	岳山	181.6
京羅木山	473.0	佐幸寺山	178.0
大辻山	365.0	兄弟山	176.7
羽根ヶ谷山	360.9	清水山	107.4
独松山	320.6	十神山	92.9
要害山	281.2	城山	87.8
鷲頭山	258.5	高塚山	48.7

資料:宍道市館内図

【中国地方の梅雨入りと梅雨明け】

年	入り	明け	年	入り	明け
2001年	6月5日ごろ	7月19日ごろ	2011年	5月21日ごろ	7月8日ごろ
2002年	6月11日ごろ	7月21日ごろ	2012年	6月8日ごろ	7月17日ごろ
2003年	6月10日ごろ	7月31日ごろ	2013年	5月27日ごろ	7月8日ごろ
2004年	5月29日ごろ	7月13日ごろ	2014年	6月2日ごろ	7月20日ごろ
2005年	6月11日ごろ	7月18日ごろ	2015年	6月2日ごろ	7月24日ごろ
2006年	6月8日ごろ	7月26日ごろ	2016年	6月4日ごろ	7月18日ごろ
2007年	6月14日ごろ	7月23日ごろ	2017年	6月20日ごろ	7月13日ごろ
2008年	5月28日ごろ	7月6日ごろ	2018年	6月5日ごろ	7月9日ごろ
2009年	6月3日ごろ	—	2019年	6月26日ごろ	7月25日ごろ
2010年	6月13日ごろ	7月17日ごろ	2020年	6月10日ごろ	7月30日ごろ

※気象庁ホームページ

■地目別面積(課税地)の推移

単位:ha, %

区分	平成 30 年		令和元年		令和 2 年	
	(2018 年)		(2019 年)		(2020 年)	
	面積	地目割合	面積	地目割合	面積	地目割合
総数	18,737	100.0	18,765	100.0	18,762	100.0
田	4,090	21.8	4,082	21.8	4,061	21.7
畠	959	5.1	957	5.1	944	5.1
宅地	884	4.7	887	4.7	888	4.7
池沼	37	0.2	37	0.2	37	0.2
山林	12,006	64.1	12,039	64.1	12,050	64.2
原野	540	2.9	541	2.9	558	2.9
雜種地	221	1.2	222	1.2	224	1.2

資料: 税務課(各年 1 月 1 日現在)

■農地転用状況

単位:件, a

区分	平成 30 年度						令和元年度					
	総数	安来		広瀬	伯太	総数	安来		広瀬	伯太		
		市街化 区域	市街化 調整区域				市街化 区域	市街化 調整区域				
総数	件数	56	21	21	7	7	74	23	28	4	19	
	面積	3.4	136.1	150.8	28.0	23.4	25.0	5.6	14.3	0.7	4.4	
住宅用地	件数	16	9	15	2	3	24	12	4	2	6	
	面積	47.1	46.0	57.4	3.0	2.0	8.3	4.1	1.8	0.6	1.9	
商工業用地	件数	18	8	10	0	1	24	7	16	1	0	
	面積	203.5	38.7	46.6	0.0	5.7	6.9	1.0	5.8	0.1	0.0	
その他の 用地	件数	22	4	10	5	3	26	4	8	1	13	
	面積	1.7	51.5	46.8	25.0	46.8	9.8	0.5	6.7	0.0	2.5	

資料: 農業委員会(各年度 3 月末現在)

人口・人口移動

■人口・世帯

単位:世帯、人、%

区分	平成 30 年	令和元年	令和 2 年
世帯数	14,267	14,342	14,356
人口	総数	39,199	38,745
	男	18,785	18,582
	女	20,414	20,163
年少者	14 歳以下	4,658	4,538
	割合	11.88	11.71
高齢者	65 歳以上	13,945	13,933
	割合	35.57	35.96

資料:市民課(住民基本台帳)(各年 3 月末現在)

■人口動態

単位:人、%

区分	島根県	安来市
令和元年 10 月 1 日現在推計人口	673,891	37,581
令和 2 年 10 月 1 日現在推計人口	666,941	36,975
自然動態	総数	4,541 197
	男	2,333 107
	女	2,208 90
死亡	総数	9,657 594
	男	4,615 294
	女	5,042 300
自然増減	総数	▲5,116 ▲397
	男	▲2,282 ▲187
	女	▲2,834 ▲210
社会動態	率	▲0.76 ▲1.06
	総数	11,709 436
	男	6,600 226
県外転入	女	5,109 210
	総数	7,296 311
	男	3,955 164
県内転入	女	3,341 147
	総数	13,543 622
	男	7,373 315
県外転出	女	6,170 307
	総数	7,296 334
	男	3,955 182
県内転出	女	3,341 152
	総数	▲1,834 ▲209
	男	▲773 ▲107
社会増減	女	▲1,061 ▲102
	率	▲0.27 ▲0.56
	総数	▲6,950 ▲606
人口増減	男	▲3,055 ▲294
	女	▲3,895 ▲312
	率	▲1.03 ▲1.61

資料:島根の人口移動と推計人口(令和 2 年年報)

第 4 表市町村別推計人口・人口動態

令和 2 年 10 月 1 日現在

注)「県外転入」には、市町村長が職権により住民票に「記載」した者の数、
「県外転出」には住民票から「消除」した者の数が含まれている。

自然増減数=出生児数-死者数

自然増減率=1年間の自然増減数/前年 10 月 1 日現在人口 × 100

社会増減数=転入者数-転出者数

社会増減率=1年間の社会増減数/前年 10 月 1 日現在人口 × 100

○推計人口は、5 年ごとに実施される国勢調査人口に人口移動調査の結果を加算、減算し、10 月 1 日現在での年齢別人口などを推計しているもの。

○自然動態、社会動態、人口増減は、令和元年 10 月 1 日から令和 2 年 9 月末日までの増減。

資料:平成 27 年国勢調査 ※昼に対する夜間の人口割合

『島根県内における安来市』

●昼夜間人口比率ランキング※

順位	市町村名	昼夜間人口比率(%)
1 位	川本町	112.1
2 位	松江市	103.6
3 位	飯南町	102.9
4 位	浜田市	102.5
5 位	海士町	102.0
6 位	吉賀町	101.2
7 位	益田市	100.7
8 位	隠岐の島町	100.0
9 位	知夫村	99.5
10 位	西ノ島町	99.5
11 位	大田市	98.6
12 位	邑南町	98.5
13 位	出雲市	98.3
14 位	江津市	97.1
15 位	奥出雲町	97.1
16 位	安来市	96.8
17 位	津和野町	95.0
18 位	雲南市	93.2
19 位	美郷町	90.5

■移動理由別移動者数

単位:人、%

区分	合計	割合	県外転入	県内転入	県外転出	県内転出
移動者総数	1671	-	416	311	610	334
原因者	総数	1333	-	315	234	510
	転勤	196	14.7	39	38	61
	就職	272	20.4	82	18	133
	転職転業	112	8.4	28	11	62
	就学卒業	106	8.0	15	18	49
	結婚・離婚 縁組・離縁	231	17.3	39	53	66
	新築転居	130	9.8	16	29	54
	退職等	146	11.0	56	30	34
	その他	140	10.5	40	37	51
	不詳	0	0	0	0	0
同伴者	338	-	101	77	100	60

資料:島根の人口移動と推計人口(令和2年年報) 第12表市町村・移動理由別移動者数(令和元年10月1日から令和2年9月末日まで)

*「県外転入」には市町村が職権により住民票に「記載」した者の数、「県外転出」には住民票から「消除」した者の数が含まれていない。

*割合は小数第2位以下を四捨五入。

移動理由の割合のトップは3年連続で「就職」



県外転出理由のトップも3年連続で「就職」となりました。

市町村・都道府県間移動者数

いずれも鳥取県との移動が最多である。

県外転入(上位5位)

都道府県名	転入者(人)	割合(%)
鳥取県	141	33.9
広島県	35	8.4
東京都		
大阪府	29	7.0
岡山県		

県外転出(上位5位)

都道府県名	転出者(人)	割合(%)
鳥取県	233	38.2
東京都	48	7.9
大阪府	39	6.4
国外	34	5.6
岡山県	32	5.2

県内移動者数

いずれも松江市との移動が最多である。

県内転入(上位5位)

市町村名	転入者(人)	割合(%)
松江市	190	61.1
出雲市	41	13.2
浜田市	17	5.5
大田市		
雲南市	13	4.2

県内転出(上位5位)

市町村名	転出者(人)	割合(%)
松江市	232	69.5
出雲市	40	12.0
浜田市	16	4.8
雲南市	10	3.0
大田市		
隠岐の島町	8	2.4

福祉・介護

■保育所・認定こども園

単位:人

区分	令和2年						
	施設数	定員	入所者数				
			合計	4,5歳児	3歳児	1,2歳児	0歳児
保育所(園)	6	508	554	220	106	193	35
認定こども園	13	950	697	308	143	222	24

資料:子ども未来課(令和2年4月1日現在) ※認定こども園は保育所型及び幼保連携型

■入所者の内訳

単位:人

施設名	定員	入所者数				
		合計	4,5歳児	3歳児	1,2歳児	0歳児
安来保育所	110	114	46	22	39	7
城谷保育所	120	128	49	23	44	12
切川保育所	60	69	32	13	22	2
あゆみ保育園	38	42	15	8	16	3
認定こども園ひろせ保育園	119	108	48	18	35	7
みゆき保育園	120	136	53	28	48	7
やすぎ保育園	60	65	25	12	24	4
あかえこども園	95	86	37	14	30	5
ふたばこども園	145	147	50	37	55	5
認定こども園荒島	99	60	32	12	16	0
認定こども園飯梨	60	30	12	7	10	1
認定こども園大塚	65	57	30	8	18	1
認定こども園広瀬	82	57	26	15	16	0
認定こども園比田	35	12	7	2	3	0
認定こども園布部	35	10	6	2	1	1
認定こども園安田	80	53	29	12	12	0
認定こども園母里	70	50	19	10	18	3
認定こども園井尻	35	13	6	2	4	1
認定こども園赤屋	30	14	6	4	4	0

資料:子ども未来課(令和2年4月1日現在) ※他市町村からの入所(園)者を含む。

■介護保険

単位:人, %

区分	平成 29 年度				平成 30 年度				令和元年度			
第 1 号 被保険者数 (65 歳以上)	13,975				13,974				13,954			
要支援・要介護 認定者数	第 1 号	第 2 号	計	割合	第 1 号	第 2 号	計	割合	第 1 号	第 2 号	計	割合
	2,856	39	2,895	100.0	2,881	36	2,917	100.0	2,843	39	2,882	100.0
要支援1	427	3	430	14.9	438	0	438	15.0	464	2	466	16.2
要支援2	402	5	407	14.0	417	4	421	14.4	398	6	404	14.0
要介護1	702	11	713	24.6	717	14	731	25.1	673	8	681	23.6
要介護2	431	5	436	15.1	427	6	433	14.8	441	9	450	15.6
要介護3	381	8	389	13.4	354	4	358	12.3	344	3	347	12.0
要介護4	302	2	304	10.5	313	2	315	10.8	309	7	316	11.0
要介護5	211	5	216	7.5	215	6	221	7.6	214	4	218	7.6
第 1 号 被保険者認定率	20.4				20.6				20.4			

資料:介護保険課(各年度 3 月末現在) ※数値は介護保険事業状況報告による。

■国民健康保険

単位:世帯, 人, %, 円

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
被保険者	世帯	5,055	4,921
	人員	8,180	7,858
国保世帯の割合	国保世帯/一般世帯	35.4	34.3
保険税(年額)	収入額	822,166,678	746,484,438
	1 世帯当たり	162,644	151,694
	1 人当たり	100,509	94,997
医療の給付	保険給付費	3,312,623,262	3,199,482,620
	1 世帯当たり	655,316	650,169
	1 人当たり	404,966	407,162

資料:保険年金課(各年度 3 月末現在) ※数値は国民健康保険事業状況報告書(事業年報)による。

■国民年金

単位:人

■生活保護

単位:人, 世帯, %, 千円

区分	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
被保険者数	4,488	4,270	4,185	被保護者数	219	210	208
第 1 号	2,972	2,847	2,839	被保護世帯数	182	182	180
第 3 号	1,516	1,423	1,346	保護率(人口千人)対	5.58	5.42	5.45
福祉年金受給者	0	0	0	保護費総額	347,134	349,462	357,599

資料:保険年金課(各年 12 月末現在)

資料:福祉課(各年度 3 月末現在)

※数値は国民年金事業状況統計表による。

教育・文化

■年齢別園児数(幼稚園及び幼稚園型こども園)

単位:人

幼稚園 及び 幼稚園型 こども園	施設数	学級数	区分	計	3歳児	4歳児	5歳児
	2	5	総数	52	19	16	17
			男	27	12	8	7
			女	25	7	8	10

資料:学校基本調査(令和2年5月1日現在)

■各幼稚園児数

単位:人, 学級

区分	幼稚園		幼稚園型こども園		
	幼稚園名	安来幼稚園	宇賀荘幼稚園	島田こども園	能義こども園
園児数		35		17	
学級数		3	休園	2	休園
教職員数		7		4	

資料:学校基本調査(令和2年5月1日現在)

■学年別児童・生徒数(小・中学校)

単位:人

区分	学校数	学級数	区分	計	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
小学校	17	102	総数	1,833	274	296	283	335	323	322
			男	943	147	142	143	171	174	166
			女	890	127	154	140	164	149	156
中学校	5	36	総数	1,019	325	332	362			
			男	536	167	172	197			
			女	483	158	160	165			

資料:学校基本調査(令和2年5月1日現在)

■各学校児童生徒数

単位:人, 学級

小学校名	十神小	社日小	島田小	宇賀荘小	南小	能義小	飯梨小	荒島小	赤江小
児童数	345	206	131	39	70	51	38	180	281
学級数	13	7	6	4	6	6	4	7	12
教職員数	31	19	18	10	19	14	12	18	29
小学校名	広瀬小	比田小	山佐小	布部小	安田小	母里小	井尻小	赤屋小	
児童数	215	33	12	18	85	76	22	31	
学級数	10	3	3	3	6	6	3	3	
教職員数	25	9	7	9	16	12	10	11	
中学校名	安来一中	安来二中	安来三中	広瀬中	伯太中				
生徒数	462	88	187	165	117				
学級数	15	3	7	6	5				
教職員数	37	18	24	18	17				

資料:学校基本調査(令和2年5月1日現在)

■図書館別利用状況内訳

単位:人、冊

区分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
やすぎ図書館	利用者数	41,312	40,466	40,782
	貸出総冊数	215,108	211,997	208,876
はぐた図書室	利用者数	9,325	9,231	8,977
	貸出総冊数	48,221	48,599	45,564
ひろせ図書室	利用者数	4,971	4,819	4,271
	貸出総冊数	23,996	23,964	21,345
合計	利用者数	55,608	54,516	54,030
	貸出総冊数	287,325	284,560	275,785

資料:文化財課(各年度 4 月 1 日～3 月 31 日の合計)

■図書館別蔵書数

単位:冊

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
やすぎ図書館	156,375	159,199	161,019
はぐた図書室	71,900	73,667	75,510
ひろせ図書室	22,497	23,845	24,915
合計	250,772	256,711	261,444

資料:文化財課(各年度 3 月末現在)

■文化財

単位:件

種別	総数	国指定	県指定	市指定	登録有形文化財
建造物	11	2	5	4	22
絵画	3	1	—	2	—
彫刻	22	7	6	9	—
工芸品	21	1	6	14	—
書跡・典籍・古文書	5	2	—	3	—
考古資料	8	—	1	7	—
工芸技術	1	—	1	—	—
有形民俗	4	2	1	1	—
無形民俗	7	—	—	7	—
史跡	15	5	3	7	—
名勝	1	—	—	1	—
天然記念物	2	—	1	1	—
合計	100	20	24	56	22

資料:文化財課(令和 2 年 12 月末現在)

〔国指定文化財一覧〕

種類	種別	名称	員数	所有者等	指定月日
有形文化財	建造物	清水寺本堂	1棟	清水寺	明治37年2月18日
		雲樹寺四脚門（大門）	1棟	雲樹寺	明治37年2月18日
	彫刻	絹本著色三光国師像	1幅	雲樹寺	明治37年2月18日
		木造十一面觀音立像	1躯	清水寺	明治35年7月31日
		木造阿弥陀如來両脇士坐像	3躯	清水寺	明治35年7月31日
		木造阿弥陀如來坐像	1躯	清水寺	昭和47年5月30日
		木造摩多羅神坐像覚清作	1躯	清水寺	平成25年6月19日
		木造広目天立像	1躯	城安寺	明治35年7月31日
		木造多聞天立像	1躯	城安寺	明治36年4月15日
		木造聖觀音脇士帝釈天立像	2躯	巖倉寺	明治35年7月31日
	工芸品	銅鐘	1口	雲樹寺	明治37年2月18日
	古文書・書跡・典籍	紙本墨書き院宸翰御消息（一通）	1巻	雲樹寺	昭和18年6月9日
		紙本墨書き村上天皇宸翰御消息（三通）		雲樹寺	昭和18年6月9日
民俗文化財	重要有形民俗文化財	孤峰覚明墨蹟（正平辛丑仲春日）	1幅	雲樹寺	昭和18年6月9日
		たたら製鉄用具	250点	日立金属(株)	昭和34年5月6日
		東比田の山村生産用具	185点	安来市	昭和38年5月15日
記念物	史跡	荒島古墳群	3所	安来市ほか	昭和11年12月16日
		安来一里塚	1所	安来市	昭和11年12月16日
		岩舟古墳	1所	個人	昭和23年12月18日
		仲仙寺古墳群	2所	安来市	昭和46年8月12日
		富田城跡	1所	安来市ほか	昭和9年1月22日

【「広瀬伝習所」40周年】



広瀬町町帳にある「広瀬紺伝習所」が開所から40周年を迎えました。広瀬紺は江戸時代後期に伯耆国から広瀬に伝わり、つくられるようになったとされており、現在は、島根県無形文化財に指定されています。この伝習所では、糸に模様をつける「型付け」や色をつける「染め」、織機を使った「手織り」など、広瀬紺をつくる上で必要となる技術を学びます。江戸時代から庶民の普段着として親しまれてきた広瀬紺。200年以上にわたり伝承された技は、これからも引き継がれていきます。

観光・交通

■観光地別入込客数 単位:人

施設名	令和2年
足立美術館	256,806
和鋼博物館	5,517
清水寺	148,375
鶴の湯温泉	91,743
夢ランドしらさぎ	68,623
安来節演芸館	29,633
広瀬耕センター	31,696
歴史民俗資料館	4,421
月山の湯憩いの家	5,752
富田山荘	23,727
山佐ダム	3,711
比田温泉健康増進施設	22,578
金屋子神話民俗館	698
チューリップ祭	—
上の台緑の村	5,836
やすぎ月の輪まつり	—
やすぎ刃物まつり	—

資料:商工観光課(令和2年1月～12月までの合計)

■観光客入込数

単位:人

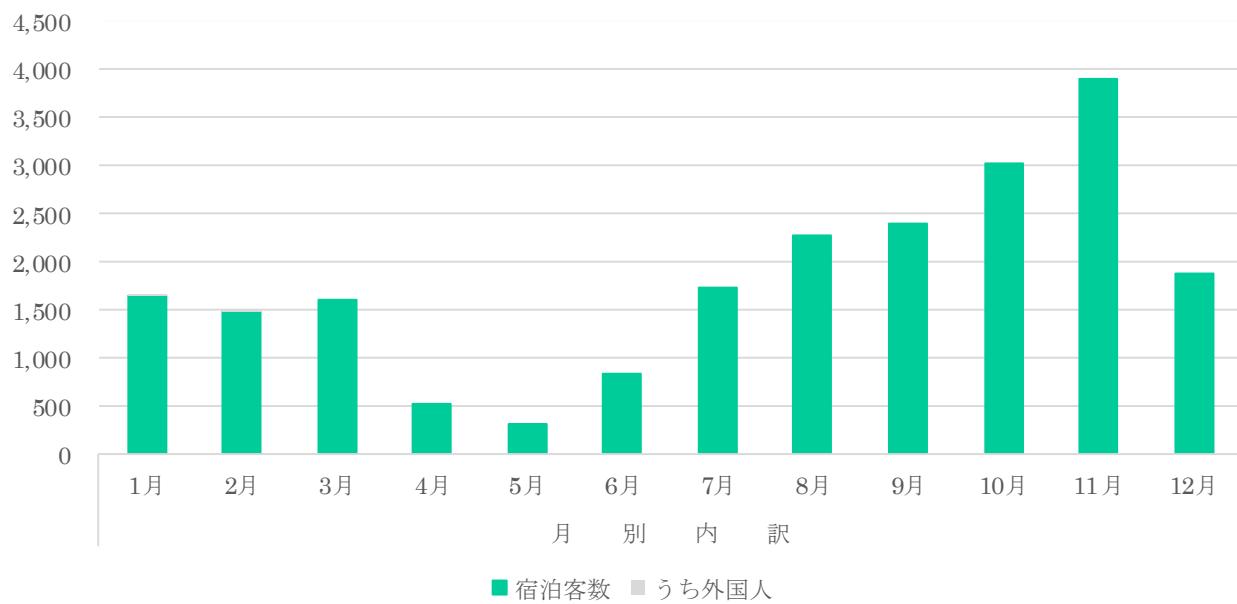
区分	平成30年	令和元年	令和2年
総数	1,490,315	1,489,966	699,116

資料:商工観光課(各年1月～12月までの合計)

【観光客入込数の変化】



令和2年 月別宿泊者数



【10回目の清水寺灯参道】

10回目の開催となった清水寺灯参道（あかりさんどう）。足元をほのかに照らす行灯や境内のライトアップで普段とは違った雰囲気に。来場者は、幻想的な光の空間に包まれた夜の古刹を散策していました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、お茶席を中止にするなど、例年とは異なる形での開催となりました。三重塔のライトアップは、最前線で医療に従事する関係者への感謝の気持ちを込めて、青く照らされました。



■イエローバス利用状況

単位:人、%

路線名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比(増減)
総数	326,726	312,531	303,669	97.2%
観光ループ(外回り・内回り)	23,250	23,324	24,535	105.2%
買い物バス	9,114	8,268	8,693	105.1%
スクールバス	36,098	32,031	30,071	93.9%
安来・吉田線	16,122	14,445	14,881	103.0%
広瀬・米子線	79,688	78,333	75,725	96.7%
広瀬・荒島線	37,744	36,029	36,812	102.2%
広瀬・宇波線	5,815	5,869	5,104	87.0%
広瀬・奥田原線	20,856	19,114	15,212	79.6%
広瀬・西比田線	29,141	25,292	24,442	96.6%
伯太(上小竹)・広瀬線	11,796	12,833	12,080	94.1%
伯太(草野)・安来線	35,441	34,089	32,815	96.3%
伯太(福富)・米子線	11,087	11,177	11,713	104.8%
上小竹・草野線	3,424	3,578	2,936	82.1%
市街地循環バス	6,693	7,253	7,630	105.2%
アルテピア線	457	896	1,020	113.8%

資料:地域振興課(各年3月末現在)

産業

■分野別事業所数・従業者数

単位:人、万円

区分	事業所数		従業者数			区分	事業所数		従業者数				
	個人	法人	男	女	個人	法人	男	女	個人	法人	男		
総数	1,689	697	959	15,407	9,297	6,093	金融業、保険業	21	3	18	168	55	113
農林漁業	18	—	18	224	177	45	不動産業、物品販貸業	59	39	20	189	105	84
鉱業、探石業、砂利採取業	1	—	1	5	5	0	学術研究、専門・技術サービス業	56	27	29	260	194	66
建設業	195	89	106	1,163	963	200	宿泊業、飲食・サービス業	142	94	45	797	245	551
製造業	156	54	102	5,166	4,003	1,163	生活関連サービス業、娯楽業	155	116	37	428	168	260
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—	—	教育、学習支援業	34	25	8	201	80	121
情報通信業	4	—	4	19	10	9	医療、福祉	125	18	97	2,454	609	1,831
運輸業、郵便業	37	3	34	948	823	125	複合サービス事業	60	4	56	379	226	153
卸売業、小売業	450	205	244	2,403	1,212	1,191	サービス業(他に分類されないもの)	168	20	140	603	422	181

資料:平成 28 年経済センサス活動調査

*総数は公務を除く、事業内容等不詳を含む。事業所数は法人でない団体を含む。従業者数は男女別の不詳を含む。

■農業

単位:戸、人、ha

農家数		2,943
販売農家		2,182
主副業別	主業農家	202
	準主業農家	717
	副業的農家	1,263
専兼業別	専業農家	426
	第1種兼業農家	143
	第2種兼業農家	1,613
自給的農家		761
土地持ち非農家		1,161
販売農家就業人口	総数	3,092
	男	1,492
	女	1,600
經營耕地面積	合計	3,035
	田	2,726
	普通畠	237
樹園地		72
1 経営体当たり經營耕地面積		1.38

資料:2015 年農林業センサス

■工業

単位:人、万円

区分	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
総数	84	6,011	19,097,296
食料品	16	557	637,159
飲料・たばこ・銅料	2	33	X
繊維工業	4	199	71,009
木材・木製品	6	51	161,511
家具・装備品	4	21	14,880
パルプ・紙・紙加工品	4	85	135,983
印刷・同関連	2	9	X
プラスチック製品	1	174	X
窯業・土石製品	4	59	99,029
鉄鋼業	12	3,334	14,849,260
非鉄金属	1	5	X
金属製品	8	242	259,116
はん用機械器具	6	374	564,855
生産用機械器具	6	81	88,320
電気機械器具	3	241	284,048
情報通信機械器具	1	231	X
輸送用機械器具	3	311	1,358,323
その他	1	4	X

資料:2019 年工業統計調査

住民生活

■ごみ処理

単位:t, %

区分		平成 30 年度	令和元年度
総処理量(①)		10,367	10,369
資源ごみ (②)	総数	1,773	1,753
	その他の紙類	85	81
	缶類(飲料)	23	22
	金属類	211	172
	ピン類(飲食用)	178	163
	ペットボトル	39	38
	プラスチック類	422	425
	新聞・新聞チラシ	232	183
	書籍・雑誌・冊子	122	103
	ダンボール	79	63
	牛乳パック	3	3
	衣類	58	65
	蛍光管・体温計	5	6
	板ガラス	1	5
	粗大ごみ	316	424
燃やすごみ		8,306	8,387
埋立ごみ		297	228
リサイクル率(②/①)		17.1	16.9

資料:環境政策課(各年 3 月末現在)

■公共下水道

単位:ha, 戸, 人, %

区分	令和元年度			
	総数	安来	広瀬	伯太
処理面積	618.0	499.1	118.9	—
処理戸数	8,221	7,016	1,205	—
水洗化人口	17,820	14,893	2,927	—
公共下水道の普及率	54.7	45.9	8.8	—
安来市下水道の普及率	89.5	—	—	—

資料:下水道課(3月末現在)

■農業集落排水事業の設備状況

単位:戸, 人, %

区分	令和元年度			
	総数	安来	広瀬	伯太
処理戸数	2,426	1,000	329	1,097
水洗化人口	6,359	2,590	703	3,066
農業集落排水	18.7	8.0	2.3	8.4
事業の普及率				

資料:下水道課(3月末現在)

■上水道の給水状況

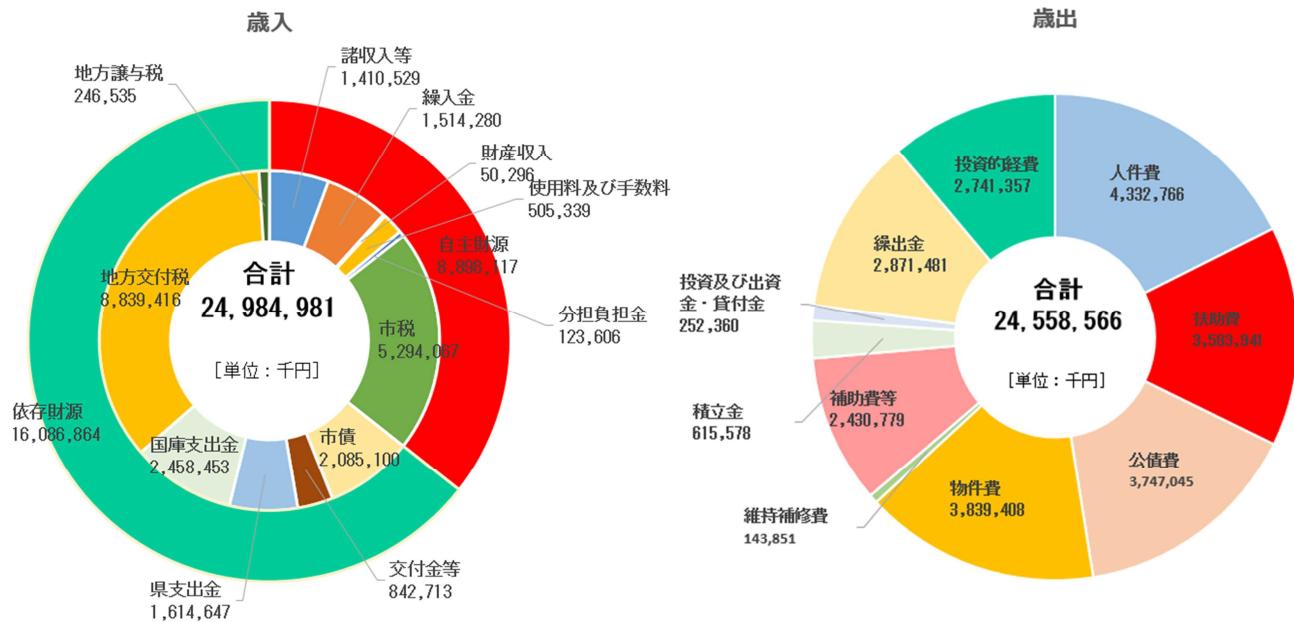
単位:戸, 人, m³, %

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
	上水道	上水道	上水道
給水戸数	14,033	14,091	14,146
給水人口	38,663	38,219	37,644
年間	給水量	4,911,942	4,636,443
	有収水量	4,299,335	4,149,172
有収率	87.5	89.5	89.8
1 日平均 給水量	13,457	12,703	12,107
1 人 1 日平均 給水量	0.348	0.332	0.322

資料:水道管理課(各年 3 月末現在)

財政

■令和元年度普通会計決算額



■市税の内訳

単位:千円

区分	平成 30 年度		令和元年度
	決算	決算	決算
総額	5,279,456		5,294,067
市民税(個人分)	1,638,407		1,618,532
市民税(法人分)	384,173		269,066
固定資産税	2,880,819		3,032,433
軽自動車税	133,850		139,378
市たばこ税	239,353		231,632
入湯税	2,854		3,026

資料:財政課

選挙

■選挙人名簿登録者

単位:人、%

区分		令和2年	令和3年
登録者数	総数	32,581	32,110
	男	15,500	15,276
	女	17,081	16,834

資料:選挙管理委員会(各年3月1日現在)

■選挙別投票率

単位:人、%

区分	令和2年10月18日執行 安来市長選挙
選挙当日有権者数	32,064
投票者数	21,521
投票率	67.12%

資料:選挙管理委員会

■投票所別投票率

単位:人、%

区分	令和2年10月18日執行 安来市長選挙	
	投票者数	投票率
十神小学校図工室	1,680	62.55%
安来市役所安来庁舎	2,247	64.79%
社日小学校	998	65.10%
旧城谷保育所	1,157	64.14%
宇賀荘幼稚園	637	79.33%
安来第二中学校	554	79.26%
能義こども園	645	77.06%
安来市学習訓練センター	1,405	68.77%
切川保育所	803	66.97%
認定こども園荒島	1,326	65.06%
安来第三中学校	838	64.07%
飯梨小学校	832	68.42%
認定こども園大塚	519	64.79%
吉田交流センター	277	70.30%
島田こども園	990	60.48%
広瀬中央交流センター	833	71.32%
広瀬中央公園総合体育館	264	64.71%
つどいの里ひろせ	963	70.29%
比田交流センター	450	71.32%
東比田交流センター横体育館	211	73.52%
西谷交流センター	123	70.29%
奥田原交流センター	144	82.29%
山佐交流センター	239	74.45%
下山佐交流センター	271	65.62%
菅原交流センター	117	67.63%
布部交流センター	343	64.11%
宇波交流センター	152	74.15%
いきいきの郷はぐた	814	65.91%
母里交流センター	796	67.74%
井尻老人福祉センター	495	69.13%
赤屋交流センター	398	65.14%

資料:選挙管理委員会

警察

■月別交通事故発生状況

単位:件、人

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	7	6	5	4	3	4	8	5	6	5	3	7	63
死者	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
負傷者	9	7	5	4	4	4	10	6	6	5	3	9	72

資料:島根県警察本部 交通事故統計だより(令和2年12月末現在)

■第一当事者の違反別発生状況

単位:件

区分	令和元年	令和2年
合計件数	54	63
前方不注意	20	13
安全不確認	6	8
動静不注視	8	17
操作不適	4	2
交差点安全	1	3
速度の出過ぎ	1	1
信号無視	1	2
横断歩行者妨害等	—	3
右左折違反	—	—
一時不停止	2	5
その他	11	9
歩行者の違反	—	—
不明	—	—

資料:島根県警察本部 交通事故統計だより(各年12月末現在)

■状態別死傷者数

単位:人

区分	こども	高校生	20歳未満	20~24歳	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	合計	
四輪	運転	—	—	1	8	4	10	11	2	2	9	47
四輪	同乗	—	—	—	1	1	—	2	2	—	1	7
二輪	運転	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
二輪	同乗	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
自転車		1	1	—	—	—	—	2	—	2	3	9
歩行者		—	—	1	—	—	—	1	2	—	5	9
その他		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計		1	1	2	9	5	10	16	6	4	19	73

資料:島根県警察本部 交通事故統計だより(令和2年12月末現在)

消防

■火災発生状況

単位：件、人、世帯

区分		令和元年
件数		19
火災種別	建物	8
	林野	3
	車両	—
	その他	8
損害程度	死者	1
	負傷者	1
	罹災世帯	5
	罹災人員	22
主な原因	枯れ草焼き	5
	火のついたゴミ	3
	たばこ	1
	電気ストーブ	1
	熱せられた金属製品	1
	焼却炉	1
	電気こたつ	1
	ガスバーナー	2
	風呂かまど	1
	不明	3

資料:安来市消防本部 消防年報(1~12月までの合計)

■地域別火災発生状況

単位：件

地域	平成30年	令和元年
安来	13	11
広瀬	4	7
伯太	5	1

資料:安来市消防本部 消防年報(各年1~12月までの合計)

■救急件数

単位：件、人、%

区分	平成30年	令和元年	割合
件数合計	1,820	1,883	100.0
交通事故	117	90	4.8
一般負傷	329	291	15.5
急病	1,063	1,144	60.8
転院搬送	240	265	14.1
その他	71	93	4.9
総搬送人員	1,733	1,749	—

資料:安来市消防本部 消防年報(各年1~12月までの合計)

■応急手当普及啓発活動状況

単位：人、回

区分	平成30年		令和元年	
	受講者数	回数	受講者数	回数
総数	2,653	103	2,810	119
普通救命講習	381	21	346	23
その他の講習	2,272	82	2,464	96

資料:安来市消防本部 消防年報(各年1~12月までの合計)

■消防団員数

単位：人

区分	団長	副団長	方面隊長 (副団長)	副方面隊長 (分団長)	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
人数	1	3	3	6	21	17	34	67	524	676

資料:安来市消防本部 消防年報(令和2年4月1日現在)

■消防団員の年齢構成

単位：人、才

年齢	総数	20才 以下	21~ 25才	26~ 30才	31~ 35才	36~ 40才	41~ 45才	46~ 50才	51~ 55才	56才 以上	平均 年齢
全体数	676	0	21	42	90	142	163	110	61	47	41.91
女性数	24	0	4	0	0	4	6	5	4	1	42.38

資料:安来市消防本部 消防年報(令和2年4月1日現在)

防災

■総合防災訓練実施状況

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
日程	台風の接近により中止	台風の接近により中止	未実施
時間			
参加者数	※9月30日 9:00~11:45	※9月22日 9:30~12:00	※新型コロナウィルス感染症拡大防止のため
会場	広瀬町富田橋下駐車場及びその周辺		

【市内で活躍する自主防災組織】

自治会単位或いは地区単位で自主防災組織を結成し、防災訓練の開催や防災資機材の整備など日頃から災害に備えた活動をしておられます。

□安来市の自主防災組織率 69%

(令和2年11月末現在)



■原子力防災訓練実施状況

	平成 30 年度		令和元年度				令和 2 年度	
日程	10月26日・29日		10月30日	11月8日	11月9日	11月10日	10月27日	10月28日
時間	26日8:30~ 29日10:00		8:30~12:30	14:00~18:50	8:30~17:30	8:30~13:00	8:30~11:10	8:30~11:30
参加者数	延べ 177 人				延べ 162 人 (27日47人、28日27人)			
会場	安来市役所、わかさ会館 鳥取県大山町 (中山農業者トレーニングセンター)		安来市役所、中海ふれあい公園 防災研修棟				安来市役所、広瀬庁舎 健康福祉センター、消防本部	

資料:防災課

■指定避難所施設数

●安来地域

地区	施設数
十神	11
社日	5
赤江	4
荒島	5
飯梨	6
能義	6
大塚・吉田	4
宇賀荘	9
島田	4
合計	54

●広瀬地域

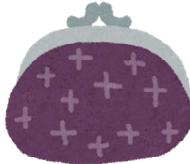
地区	施設数
広瀬	13
下山佐	2
菅原	1
比田	5
東比田	3
布部	4
西谷	2
宇波	2
山佐	3
奥田原	3
合計	38

●伯太地域

地区	施設数
安田	6
母里	7
井尻	4
赤屋	4
合計	21

資料:防災課(令和2年11月末現在)

絵で見る安来市(令和3年2月末現在)

人口密度	世帯人数
	
1km ² 当たり 89.41 人	1世帯に 2.62 人
出生	死亡
	
1日に 0.54 人	1日に 1.63 人
結婚	離婚
	
2.85 日に1組	8.11 日に1組
転入	転出
	
1日に 2.05 人	1日に 2.62 人
ごみ処理	市の決算
	
1日 28.4t	1人当たり 653 千円